



金澤 浩 議員

子育て先進地欧米では、
子どもの施設はコンペ（競争）が常識だ！

公の施設の管理に関して（被害が小さいうちに、直しているか？）

問 ①若葉、二名保育所等の維持保全記録や施設管理台帳はあるか。

②補修申請と補修に至る仕組みや、記録はあるか。
③公共施設等総合管理計画全体の予算策定と優先順位は、誰がどのように決定するのか。

答 **副町長**
①施設の維持保全記録、予防保全対策、整備補修計画を掲載した施設管理台帳は無い。

②担当課へ修繕伺いを提出後、緊急性や必要性、経費等を検討し適宜修繕対応している。
また、その記録は、文書保存年限の範囲で保管している。しかし補修履歴を整理した補修実績の記録は作成していない。

③建物の建築年、耐震性、利用状況、コスト等多角的な視点から施設の評価を行い、施設を管理する所管課が、今後10年程度の間計画する改修や更新に関する工程表を作成。

各庁内会議で必要性の検討や実施時期の調整を行う。最終的には町の財政状況を踏まえ、町長が実施の優先順位を決定する。

二名保育所の廃止に関連して（子ども達が中心の）考え方か？

問 比較のため、先例である町立若葉保育所を廃止した時の検討プロセスは。

答 **保健福祉部長**

近くに私立認定こども園の建設予定があった状況や、施設の改修や建て替えの経費を踏まえると、効率的な運営に改善するためには、町内の保育施設の競合を避け、民間活

力を導入することにより安定した保育所運営を図る必要があると判断。

認定こども園開設後、若葉保育所を廃止する方針を決定した。

問 3月議会で、保育は、町営でなくても十分、私立園で賄えると考えている。と町長の答弁があった。どんな数字で比較したのか。

答 「町営の存在意義は、私立園を含めて町内全体の保育の質の向上を図るべく指導的立場で牽引することである。」という趣旨で発言したものであって、数値という概念はない。

問 北伊予小学校の非常階段の壁面が剝離し、修繕の緊急性があったが、依頼から工事完了まで半年以上かかったなぜか。

答 **副町長**

原因がどこにあるのか、どの程度に影響が及んでいるのか等、全体を見ないと分からない為、そのような時間も必要と考えている。

問 二名廃止後、公立だから出来た保育の質の担保を、どう考えているか。

答 認可を受けている保育施設は、国の定める保育指針に従って保育を行うこととされている。その上でそれぞれの特性を生かした保育の提供を行っていることから、公立、私立を問わず、どの保育施設でも一定の質の担保はされているものと認識している。